

浦添市景観まちづくりかわら版

- 第5回市民会議 -

vol. 5

令和2年11月発行

第5回浦添市景観まちづくり 市民会議を開催しました！



令和2年10月13日(火)に浦添市役所議会議棟102会議室にて第5回市民会議を開催し、8名の市民会議メンバーが参加しました。この回の市民会議までの内容を踏まえ、事務局で景観計画改定案を作成することになります。今後、景観計画改定案について、パブリックコメント等の機会を通して、多くの市民にご意見をいただきたいと考えております。

これまでの市民会議

第1回 令和2年1月20日

景観計画の考え方と
浦添市の景観の取り組み



第2回 令和2年7月11日

まち歩き（浦添市の現状と課題）



第3回 令和2年7月14日

ワークショップ
景観課題を出し合い、改善案を考えよう



第4回 令和2年9月10日

ワークショップ
景観形成基準について考えよう



第5回 令和2年10月13日

ワークショップ
浦添市の景観の将来像・方向性を考えよう

「良好な景観とは？」や「浦添市の景観の成り立ち」を再確認して、 浦添市の景観の将来像を考える

ワークショップの前に、第2回市民会議でご説明した「良好な景観とは何か」を振り返り、さらに浦添市の昔の写真を用いて「景観の成り立ち」を確認しました。昭和、平成の時代に景観が大きく様変わりしたことを踏まえ、今後の浦添市の景観の将来像を考えました。



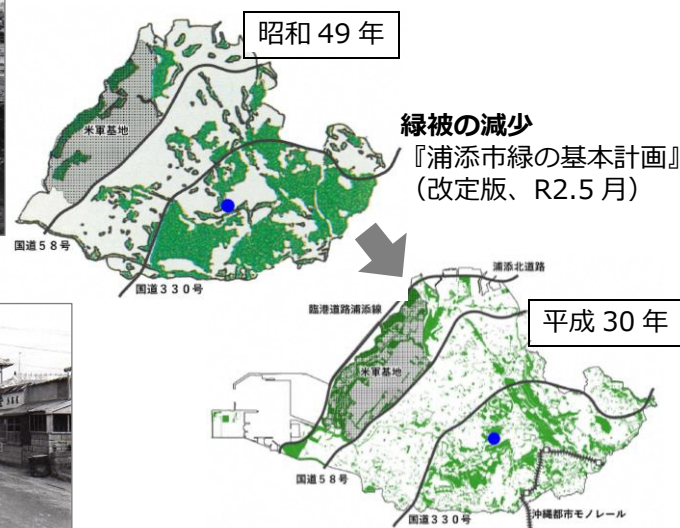
▲昭和51年
(浦添市全景)



▲昭和34年
(安波茶・前田)



昭和35年▶
(屋富祖大通り)

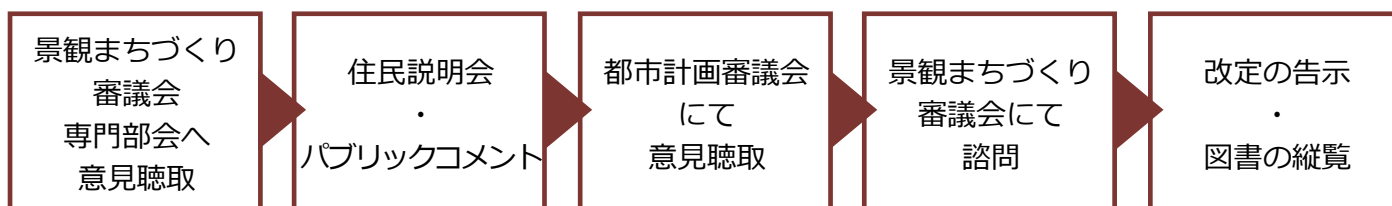


ワークショップ結果のまとめ

市の考え（方向性、課題など）を説明後、市民会議メンバーが考える「浦添市の景観の望ましい姿、守るもの、課題」などについて、2グループに分かれてワークショップ形式の意見交換を行いました。以下にご意見の一部をご紹介します。

自然・緑	・市全域で緑が激減している 41%(S49)⇒20%(H10)⇒17%(H30) ・浦西駅周辺は大きな公園などで緑を取り入れる計画を立てるべき ・商業地区は緑が少なく、汚れている ・自然の緑、緑の両翼を保護する ・都市部とそれを囲む緑のバッファゾーンを守りたい ・緑を減らさず、市全体に増やす ・場所に関わらず見える緑があることが望ましい ・住宅地の緑化率を上げる ・仲間地区の屋上緑化、ブロック塀緑化を進める
ゾーンごとの まちなみ	・ゾーンごとに良い景観の指標となる場所を設け、変化を把握する(モデル地域をつくる) ・住居ゾーンに突然高層マンションが建設されてしまう ・まちなみ(高さ)を揃えてエリア全体の均一性を持つことが望ましい(特に住居ゾーン) ・建物の色彩を守ってもらう仕組みを考え、実行してもらう必要がある ・人や活動が見える風景を守りたい ・緑が無い風景もひとつの風景、これをどのように守っていくか ・歩きやすいまちなみ、歩きたくなるまちなみが望ましい
グスク周辺	・仲間地区の御嶽、湧水、井戸などを守りたい ・最高高さ制限が必要ではないか
沿道・ モノレール 周辺	・地球温暖化対策として街路樹による緑化が必要 ・国道・県道もリンクした緑の管理が課題 ・歩きやすい道の整備が課題 ・電線地中化についてどう考えるか ・駅前の有効活用が課題
西海岸エリア	・西海岸周辺の環境保全地区(イノー等)を守りたい ・西海岸ゾーン⇔グスクゾーンの移動手段を確保する必要がある
眺 望	・グスクからの眺望、ワカリジーから久高島への眺望、西海岸への眺望を守りたい ・高地から見える景色を維持するために、高台や丘陵を守る ・まち全体に高さ基準を設けてはどうか ・各地域もしくはゾーン毎に高さ制限を設けて、各視点場からの風景の保全を図れないか
周知活動・ 人材育成	・もっと多くの市民に景観について知ってほしい ・市内全小学校で浦添の歴史などを学ぶまち歩きを取り入れる

景観計画改定までの今後の流れ



景観計画・市民会議について関心のある方は、こちらまで

【問い合わせ】 浦添市 都市建設部 美らまち推進課 TEL:876-1243 FAX:879-7138
E-mail : tyuramachi@city.urasoe.lg.jp